

製品名: ヒストン H3 (ホルミル K122) ウサギモノクローナル抗体

カタログ番号: AMRe84637

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:2000,IHC 1:100-1:200
分子量	15 kDa

抗原情報

遺伝子名	Histone H3(formylK122)
別名	Histone H3;;Formyl-Histone H3 (K123)
遺伝子 ID	
SwissProt ID	P68431
免疫原	ヒトヒストン H3.1 の K123 ホルミル化部位周辺から合成したペプチド

背景

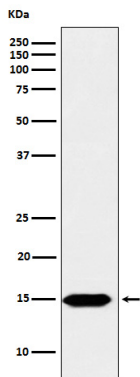
ヌクレオソームの中核構成要素。ヌクレオソームは DNA をクロマチンに包み込み、DNA を鋳型として利用する細胞機構への DNA の

アクセスを制限します。そのため、ヒストンは転写制御、DNA 修復、DNA 複製、そして染色体の安定性において中心的な役割を果たします。DNA へのアクセスは、ヒストンの複雑な翻訳後修飾（ヒストンコードとも呼ばれます）とヌクレオソームリモデリングによって制御されています。

研究分野

-

画像データ



HeLa 細胞溶解物中のヒストン H3 (ホルミル K122) 発現のウェスタン プロット分析。